

教科 科目名	数学	単位数(週あたりの授業時数)		1 単位
	数学C	履修学年(類型)	2学年	普通科 理型
教科書名(出版社名)		高等学校数学C(数研出版)		

### ●学習到達目標

ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

### ●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
	10	① 平面上のベクトル	① ベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトルおよびベクトルの成分表示について理解する。ベクトルの内積およびその基本的な性質について理解し、それらを平面図形の性質などの考察に活用する。 ② 座標およびベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを知る。 ③ 複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積および商の図形的な意味を理解し、それらを事象の考察に活用する。ド・モアブルの定理について理解する。 ④ 放物線、楕円、双曲線が二次式で表されることおよびそれらの二次曲線の基本的な性質について理解する。媒介変数の意味および曲線が媒介変数を用いて表されることを理解し、それらを事象の考察に活用する。極座標の意味および曲線が極方程式で表されることを理解し、それらを事象の考察に活用する。
	11	② 空間のベクトル ③ 複素数平面	
	12	③ 複素数平面 ④ 式と曲線	

### ●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	数学的に意味づけや解釈しながら数学的に表現・処理したりすることができ、数学のよさに気づくことができる。	粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとすることができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性をもつことができる。	問題を自立的・協働的に解決する過程を遂行することができ、さらに統合的・発展的に考察することができる。
B	数学的に表現・処理したりすることができ、数学のよさに気づくことができる。	粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとすることができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度をもつことができる。	問題を自立的・協働的に解決する過程を遂行することができる。
C	数学的に表現・処理したりすることができる。	数学的論拠に基づいて判断しようとすることができ、問題解決の過程を振り返って考察を深めたりすることができる。	問題を自立的に解決する過程を遂行することができる。
評価方法	定期テスト 単元別テスト	定期テスト 単元別テスト 課題の取り組み	学習活動での取り組み 課題への取り組み
評価の重み	$\alpha=0.4$	$\beta=0.3$	$\gamma=0.3$